

たつの市はつらつセンター（平成25年5月25日）

住民意見（説明会）と対応

No.	地区	意見	回答
1	たつの市	以前の会議ではこの地域（左岸11k、12k付近）は引堤計画があるとお聞きしておりました。引堤計画から、河床を掘削して水路の断面を確保するというようなことも聞いております。堀家が国の重要文化財に指定ということもありまして、文化施設、そういった重文施設等に配慮されて、掘削工法のほうに変わっていくかなという想定もしているわけですが、どちらの方向にいつているのか。	ご意見の箇所は、当面の整備目標である流域で甚大な被害が発生した昭和51年9月洪水と同規模の洪水が発生した場合でも流下能力を満足するため、揖保川水系河川整備計画（案）の整備箇所ではありません。
2	太子町	河道掘削や堰の改築を行ったがために、上流域では別に支障はなくても、下流へ行けば行くほど水量が増える。	下流に影響のないように十分考えて上流の整備にあたります。 「揖保川水系河川整備計画（案）（国管理区間）」では4.1.1に「昭和51年9月洪水規模の流量に対して、流下能力が不足している区間について、過去の被害発生状況背後地の重要度、社会的な諸条件等を勘案し、本支川、上下流の治水安全度のバランスを確保しつつ、段階的に整備を実施する。」と記載しております。
3	たつの市	いつも水が出ますと、消防団が姫新線と中井橋の間で交通規制をかけている状態になっています。 左岸側のところに、平成21年洪水時に堤防がえぐられて破れそうな状態になって、対策をされていると思います。その横に化学会社が2つあります。もしその堤防が破れますと、化学物質が林田川を通して瀬戸内海まで流れ出てしまうというような重要な問題が発生するのではないかと感じています。ここについては、堤防を作るのも1つの方法かも知れませんが、流れを変えたりとか、あるいは化学会社側に堤防をもう一つ、二重堤防のような形をするような方法を考えていただけたらどうかと思っています。	侵食に対する堤防および河岸の防護の必要性は、一般に、出水による侵食の可能性とその程度、および周辺の自然環境を考慮して、一出水による河岸侵食によって堤防の安全性が損なわれる恐れのある河岸の区分において護岸等の侵食対策の設置を検討してまいります。 「揖保川水系河川整備計画（案）（国管理区間）」では4.1.2に「堤防の浸透や侵食に対して安全性が低い区間については、今後背後地の人口、資産等を踏まえ、堤防の安全性を確保するための対策を順次実施する。」と記載しております
4	たつの市	水が出た場合、中井地区がいつもかなり浸水するんですよ。田んぼの冠水状態になっていますので、連合自治会としても、それについて何とか対策を立ててほしいということを、たつの市にも要請をしております件、今回山根川の水が出たために、あのあたりの地域も冠水しましたので、そういう対策もお願いしたい。	中井川の河川管理者において対策等行いますが、支川等内水被害の軽減につきましては、連携して実施します。 「揖保川水系河川整備計画（案）（国管理区間）」では4.15内水被害に関する事項に「内水被害の軽減を図るため、浸水区域の周知や水位情報発信等のソフト対策を関係機関と連携して実施する。」と記載しております。
5	たつの市	鷺崎橋から新宮の曾我井橋に至る堤防は、自転車での通勤・通学者が数多く利用しております。 「防犯灯をつけてほしい」という要望が、毎年あるが、堤防には、電柱等を設置してはいけないというふうな回答を得ています。どうしても弱者を守るために、どういうふうにしたら、防犯灯がつけられるのか、教えていただきたい。	道路管理者による設置等の検討を行ってから河川管理者への協議を行うこととなっておりますので、道路管理者へ情報提供させていただきます。